

(株)東京航業研究所、(有)文化財 COM

6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。特に、大井氏館跡遺跡第14地点の調査にあたっては富士見市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。また、江川南遺跡第19地点の調査にあたっては上福岡市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。記して厚く感謝の意を表したい。

〈発掘調査参加者〉(敬称略)

新井和枝、飯塚泰子、井上晴江、内田潔、大曾根キク子、笠原英子、加藤智香子、金子君子、小林こずい、河野匠、河野格、酒井昭、佐久間ひろ子、篠崎忠三、鈴木英子、鈴木エミ子、鈴木勝弘、関田成美、高貝しず子、戸澤竹二、中嶋末子、野岡由紀子、林きぬ子、比嘉洋子、増沢勝実、村端和樹、若尾久美子、若林紀美代

(富士見市教育委員会) 飯田久子、上田寛、川上文明、佐々木真理子、島田仁、清水七枝、関根輝子、高野ナミ、塚本政勝、戸田美根子、富田茂夫、中川和弘、成田淑美、成田良一、羽田美代子、吉田信江

(上福岡市教育委員会) 長田弘毅、壺岐ヒサ子、井川弘、宇佐美弘澄、遠藤忠志、小田静夫、小野沢保孝、菊口繁子、西城満期子、鈴木ちい、滝沢久嘉、富寺佐代子、中村正、宮崎達夫、吉田寛

〈整理作業参加者〉(敬称略)

青山奈保美、石垣ゆき子、大久保明子、小林登喜江、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、中田藤子、福島雅子、山口妙子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1) 縮尺は原則として

遺構配置図 1 : 300 遺構平面図・遺物出土状況図 1 : 60、1 : 30 炉などの詳細図 1 : 30
土器実測図 1 : 4 土器拓影図 1 : 3 石器実測図 1 : 3、2 : 3 銭 1 : 1

(2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。

(3) 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示。

攪乱  地山(ローム)  焼土 
土器 ● 石器★ 黒曜石・チャート▲ 礫○

(4) 土器実測図における screen-tone の指示。

地文縄文  撚糸文 

(5) 土器断面図は、「網目」が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。

2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。

3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

第4表 2004年度埋蔵文化財調査一覧表

	遺跡・地点名	申請地	面積(㎡)	原因	試掘期間	調査期間	備考
1	鶴ヶ岡外遺跡第2地点	鶴ヶ岡5-196,197の一部	5,000	老人介護施設	2004.12.20~2005.2.2	2005.3.14~	試掘後、調査会で本調査
2	鶴ヶ岡遺跡第3地点	鶴ヶ岡3丁目	2,059	個人住宅	2005.1.7		試掘調査
3	江川東遺跡第8地点	東久保1丁目150他	6,137	共同住宅	2004.3.25~4.8		試掘調査
4	江川東遺跡第9地点	東久保1-6-19	464	保育園	2004.4.9~4.19	2004.5.10~5.25	試掘調査
5	東久保遺跡第58地点	ふじみ野2-27-2	558	分譲住宅	2004.4.13~4.14		試掘調査
6	東久保遺跡第59地点	ふじみ野2-25-7、8、9	1,804	店舗	2004.6.29	2004.7.14~7.23	試掘後、調査会で本調査
7	東久保遺跡第60地点	ふじみ野2-26-16	337	個人住宅	2004.7.22~7.24		試掘調査
8	東久保遺跡第62地点	ふじみ野2-25-16	220	個人住宅	2004.10.12~10.15		試掘調査
9	亀久保堀跡遺跡第30地点	ふじみ野2-25-1	659	店舗	2005.1.11~1.12	2005.1.31~2.7	試掘後、調査会で本調査
10	東久保南遺跡第33地点	ふじみ野4-9-2	354	店舗	2004.7.8~7.9		試掘調査
11	東久保南遺跡第34地点	ふじみ野4-9-2	555	店舗付共同住宅	2004.7.8~7.12		試掘調査
12	東久保南遺跡第35地点	ふじみ野1-5-8	194	個人住宅	2005.1.17		試掘調査
13	東久保南遺跡第36地点	ふじみ野4-8-7	1,005	事務所	2005.1.21~1.27	2005.2.7~2.15	試掘後、調査会で本調査
14	東久保南遺跡第37地点	ふじみ野4-10-1	695	駐車場	2005.2.10~2.14		試掘調査
15	西ノ原遺跡第127地点	旭1-13-4	222	個人住宅	2004.5.24~5.25		試掘調査
16	西ノ原遺跡第127地点	旭1-13-19	105	個人住宅	2004.5.24~5.25		試掘調査
17	西ノ原遺跡第128地点	旭1-16-9、10	614	店舗	2004.6.14~7.15	2004.7.16~9.29	試掘調査
18	西ノ原遺跡第129地点	旭1-11-5	235	共同住宅	2004.9.30~10.7		試掘調査
19	西ノ原遺跡第130地点	旭1-5-8	116	個人住宅	2004.10.14~10.15		試掘調査
20	西ノ原遺跡第131地点	旭1-5-13	97	店舗付個人住宅	2004.10.22		試掘調査
21	中沢前遺跡第25地点	苗間1-10-8	809	共同住宅	2004.6.4~6.10		試掘調査
22	神明後遺跡第23地点	苗間253	62	個人住宅	2004.4.9		試掘調査
23	神明後遺跡第24地点	苗間神明後293-4,10	148	個人住宅	2004.9.30~10.7		試掘調査
24	神明後遺跡第25地点	苗間295-1	660	店舗付個人住宅	2004.9.30~10.7		試掘調査
25	浄禅寺遺跡第24地点	苗間字神明後346-1、2の一部	391	個人住宅	2004.8.30~8.31		試掘調査
26	浄禅寺遺跡第25地点	苗間339-1,2	721	共同住宅	2004.9.22~10.12		試掘調査
27	浄禅寺遺跡第26地点	苗間字神明後354の2の一部	216	分譲住宅	2005.3.3~3.8		試掘調査
28	苗間東久保遺跡第23地点	苗間字東久保640-9	104	個人住宅	2004.9.1		試掘調査
29	小田久保遺跡第6地点	大井小田久保1207-5	306	個人住宅		2004.10.26~11.13	教育委員会で本調査
30	大井宿遺跡第8地点	大井1-6-7	282	個人住宅	2004.4.20		試掘調査
31	大井宿遺跡第10地点	大井1-3-16	341	分譲住宅	2004.9.21~10.6		試掘調査
32	大井宿遺跡第11地点	大井1丁目5番5,11	970	共同住宅	2004.12.10~12.20	2005.1.6~1.29	試掘後、調査会で本調査
33	本村遺跡第112地点	市沢1-17-16	289	共同住宅	2004.7.27		試掘調査
34	大井戸上遺跡第4地点	大井字東台689-3	128	個人住宅	2004.5.27		試掘調査
35	西台遺跡第5地点	大井字西台911-51	139	個人住宅	2004.6.17		試掘調査
36	東台遺跡第41地点	大井字東台648-4	182	個人住宅	2004.5.11~5.14		試掘調査
37	東台遺跡第42地点	大井640-4	515	教会増築	2004.9.7~9.17		試掘調査
38	東台遺跡第43地点	大井東台661-6	964	駐車場	2005.1.13		試掘調査
面積合計			28,657				

XXV 東台遺跡の調査

1 遺跡の立地と環境

東台遺跡は東武東上線ふじみの駅の南約1km、砂川堀右岸の台地上に位置する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を発し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。標高は24~26mで砂川堀との比高差は約5mで急崖をなし、左岸が緩やかな傾斜を成すのとは対照的である。

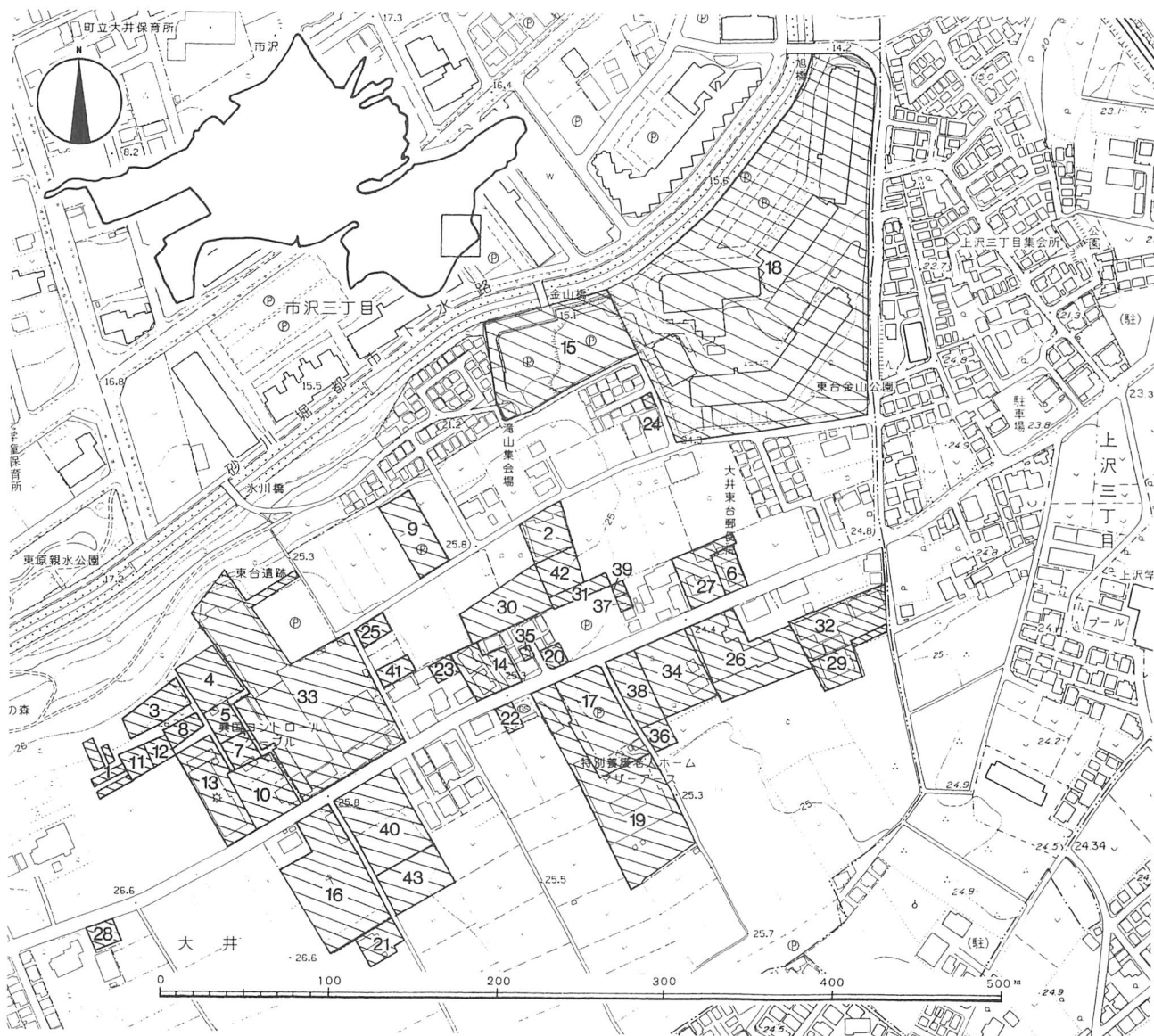
遺跡内には砂川堀に向かって小さな埋没谷が数本確認されている。遺跡の範囲は東西700m、南北250m、遺跡面積約170,000m²、町内で最大規模の遺跡であり、約17%の30,000m²を調査している。

旧石器時代の調査では、第18地点の調査で埋没谷に沿った崖沿いにナイフ型石器を伴う礫群等が分布する。今のところAT層以下で石器の検出はない。

縄文時代の調査では早期1軒、後期6軒、中期141軒、不明9軒の住居跡等多数の遺構と遺物が確認されている(2005年3月現在)。特に中期の住居跡は双環状に配置しており武蔵野台地縁辺部における拠点集落の一つである。

奈良・平安時代には遺跡の北東部の第15・18地点で八世紀後半の製鉄炉や炭焼き窯など、県内でも有数の規模と古さを誇る製鉄関連遺跡を検出している。

周辺の遺跡は、砂川堀右岸の西約50mに大井戸上遺跡、西約300mに旧石器時代の西台遺跡が位置する。また砂川堀を挟んだ左岸に旧石器時代~近世の本村遺跡が位置する。今後旧石器時代では西台遺跡・本村遺跡との関係が、奈良・平安時代から中世にかけては本村遺跡との関係が注目される。



第106図 東台遺跡の地形と調査区 (1/4,000)



第107図 東台遺跡の調査区と遺構分布図 (1/2,000)

2 東台遺跡第39地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2002年5月20日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央に位置し、隣地では縄文時代の住居跡を検出しているため、原因者と協議の結果、遺構確認の試掘調査を実施した。

調査は2002年6月3日から同年6月20日まで行なった。重機で調査区全面の表土を除去し、人力による表面精査を行なった結果、ピット5基を検出した。確認面まで40cmを測る。検出した遺構を調査し、写真撮影・遺構測量等記録保存を行なったうえ埋め戻し調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

第57表 東台第39地点ピット一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
1	円形	25 × 23	8 × 7	40	
2	不明	82 × 45	33 × 31	26	
3	楕円形	50 × 43	21 × 21	42	

【出土遺物】 1と2は遺構外出土の黒曜石製の剥片で、各側面に刃があり、0.36gである。他に黒曜石とチャートの石屑5点と縄文中期土器細片28と、近世の陶磁器4片が出土したが細片のため割愛した。

3 東台遺跡第40地点

(1) 調査の概要

調査は幼稚園建設に伴うもので、原因者より2003年9月23日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央に位置し、北側では縄文時代の住居跡を多数検出しているため、原因者と協議の結果、遺構確認の試掘調査を実施した。

調査は2003年10月6日から同年11月4日まで行なった。幅約2mのトレンチ7本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、一部で遺構を確認した。遺構の性格を確認するためさらに重機で遺構範囲の表土を除去し、人力で調査した結果、柵列、土坑、ピットであった。確認面まで40~60cmを測る。写真撮影・遺構測量等記録保存を行ない調査を終了した。

(2) 遺構

【柵列】 調査区の中央に位置する。東西方向に37m

検出した。土地境の柵列と思われる。径20~60cm、深さ35~95cm。平面形態は方形が多い。

第58表 東台遺跡第40地点土坑一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
1	不整形	141 × 128	132 × 105	50	
2	不明	220 × 178	203 × 155	25	
3	不整形	294 × 240	287 × 216	15	
4	円形	117 × 112	100 × 91	29	
5	楕円形	98 × 84	71 × 59	19	
6	不明	220 × 160	186 × 145	48	

第59表 東台遺跡第40地点ピット一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
1	楕円形	29 × 23	13 × 10	52	旧1トレ P1
2	円形	36 × 32	9 × 9	25	旧2トレ P1
3	円形	31 × 23	16 × 14	23	旧2トレ2-3グリッドP
4	円形	51 × 50	23 × 16	23	旧4トレ P1
5	楕円形	65 × 56	39 × 37	24	旧4トレ P2
6	不明	(79) × (64)	61 × 48	16	旧4トレ P3
7	不明	(45) × 33	36 × 22	88	旧4トレ P4
8	不明	(41) × 36	13 × 9	102	旧5トレ P1
9	不整形	68 × 31	11 × 10	104	旧7トレ P1
10	楕円形	51 × 36	30 × 18	34	

【出土遺物】 ピットから縄文土器細片4・遺構外から縄文土器細片92と陶磁器片23が出土したが割愛した。時期のわかる縄文土器は加曽利EⅡ式で、陶器は近世後半のもの。1はトレンチ出土のチャート製の小形石礫で重さ0.62gである。2は青銅製のキセルの雁首で長さ4.9cm、火穴の径1.5cmである。共にトレンチ出土で、縄文中期と近世後期のもの。

4 東台遺跡第41地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2004年4月13日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央に位置し、隣接地からは縄文時代の住居も検出しているため、原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

試掘調査は2004年5月11日から同年5月14日まで行なった。幅約2mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果遺構を確認した。さらに重機で遺構範囲の表土を除去し、人力で調査した結果、住居跡を3軒検出したが、確認面まで60cmを測り、建築による遺構への影響がないため慎重工事とし、写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

①90号住居跡

【位置】調査区の中央南側に位置する。東台遺跡縄文集落内では双環状部分の中央にあたる。

【形状】確認した規模は1.9×0.6m。確認面からの深さは10cm。壁は緩やかに立ち上がる。

第60表 東台遺跡90号住居跡ピット一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
1	不明	25 × (14)	15 × (12)	53	

②91号住居跡

【位置】調査区の中央に位置する。東台遺跡縄文集落内では双環状部分の中央にあたる。東側は92号住居跡と重なり、92号住居跡に切られる。

【形状】円弧を描く住居の約1/4を検出した。確認した規模は2.0×1.7m。耕作により既に床面まで削平されている。

【炉】住居跡の西側に焼土を検出した。炉跡と思われる。90×80cmの範囲が熱で硬化し焼土が堆積する。

【周溝】周溝を1本検出した。上幅は20~40cm、床面からの深さ10cm前後、断面「U」字形。

第61表 東台遺跡91号住居跡ピット一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
1	楕円形	50 × 40	41 × 35	58	
2	不明	14 × 4	9 × (2)	31	
3	不整形	8 × 7	6 × 4	25	

③92号住居跡

【位置】調査区の中央に位置する。東台遺跡縄文集落内では双環状部分の中央にあたる。

【形状】円弧を描く住居の約1/4を検出した。確認した規模は3.3×2.6m。確認面からの深さは20cm。壁は直立して立ち上がる。床面はほぼ平坦である。ピット・周溝の一部はローム混じりの土で硬く踏み固められている。

【炉】住居跡の西側に焼土を検出した。炉跡と思われる。60×55cm、深さ3cmの範囲が熱で硬化し焼土が堆積する。

【周溝】周溝は2本検出した。上幅は10~30cm。

溝1は最も内側で、床面からの深さ6~9cm、断面「U」字形。暗褐色土とロームブロックの混合土で硬く踏み固められていた。

溝2は溝1のすぐ外側に巡る。床面からの深さ5~10cm、断面「U」字形。

第62表 東台遺跡92号住居跡ピット一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
1	不明	(27) × 26	24 × 21	67	
2	不整形	34 × 31	17 × 17	69	
3	不明	23 × (18)	(15) × 15	56	
4	不明	(35) × 25	33 × 17	68	
5	不明	(48) × 34	32 × 17	19	
6	楕円形	23 × 17	11 × 6	42	

【92号住居出土遺物】埋設土器はなく、いずれも覆土の土器である。

1は口縁部を欠いた浅鉢であり、口縁部文様帯の下部は隆帯上を交互刺突したもので想定復原径40cm・高さ20cmに達し、口縁と体上部の一部に朱痕がある。勝坂Ⅲ式末か。

2は、砲弾状尖底深鉢の口縁から胴中部までの60%を残す。器面装飾は第1文様帯のみで、撚糸文(R)施文後にヘラ調整され、内面暗褐色で外面は黄褐色を呈し、器厚は6~7mm。早期の稲荷台式といえる。

3は深鉢の胴上部片で、無文地でゆるい三角隆帯ごとに複列の押引波状沈線文をめぐらす。胎土には金雲母と白色軟質物質を含む阿玉台Ⅱ式。4は筒形深鉢の口縁部片で隆帯上に幅広押引文をもち、5は筒形深鉢の口縁部片で区画隆帯上にも刻目を入れる。6は同巧で区画内に蓮華文がある。3~5は勝坂Ⅱ式。

7は深鉢の胴片で区画隆帯沿いにキャタピラー文と波形文が入る。8は筒形深鉢胴片部で縦位の沈線列をめぐらす。他に懸垂文をもつ加曽利EⅠ新式の細片若干を割愛した。

9は円礫を加工した礫器片で現存重量は90gである。10は硬質頁岩を加工した石斧で、側面の刃が著しく重さ105gである。11は基部を欠く砂岩製打製石斧で重さ57gである。

住居の時期は特定できないが勝坂末期の可能性が高い。

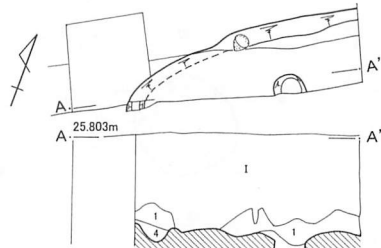
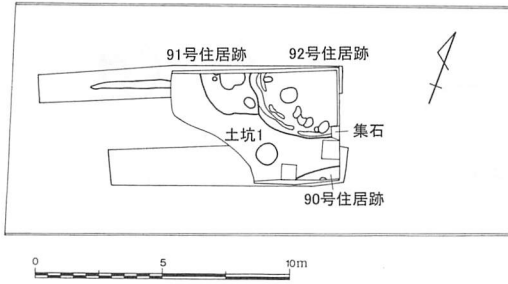
④その他の遺構

【集石】調査区中央、90号住居跡と92号住居跡の間に位置する。南北両側は耕作で削平されている。35×25cmの範囲に礫が密集し、掘り込み土坑の深さは42cmを測る。

第63表 東台遺跡第41地点遺構一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
土坑1	円形	80 × 80	58 × 56	88	
ピット1	楕円形	53 × 46	34 × (21)	82	

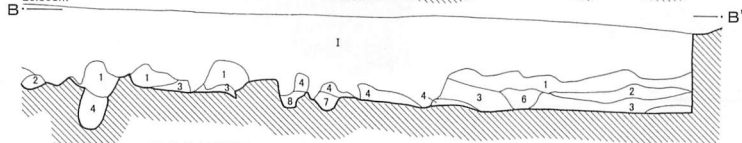
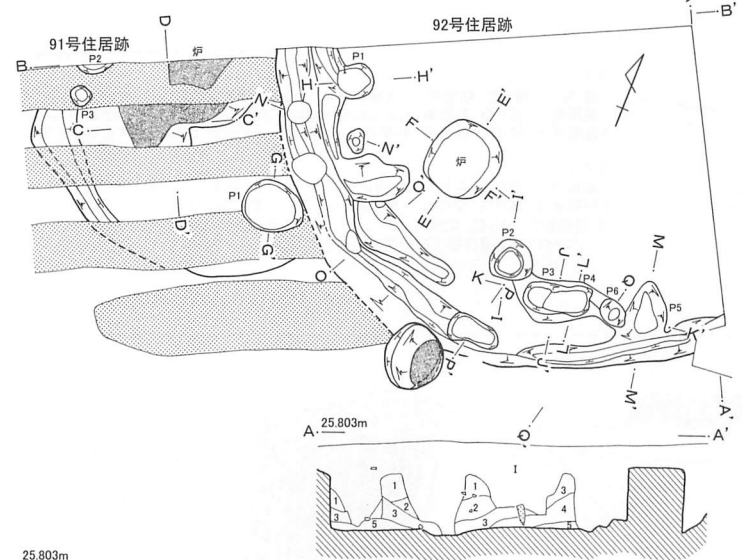
90号住居跡



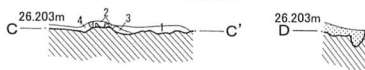
90号住居

1. 暗褐色土 締り強、粘性有、焼土粒(1mm以下) 極少含む
2. 暗褐色土 締り強、暗褐色土としみ状ロームの混合で炭化物(1mm大)少量含む
3. 暗褐色土 締り強、ローム粒(1.5cm大)多量含む(ビット覆土)
4. 暗褐色土 締り強、ソフトロームに類似するが炭化物(1mm大)極少含む(周溝覆土)
- I. 黒色土 締り弱、粘性有、黒色土と黒褐色土を斑に含みローム粒(2cm以下)少量含む住居覆土が攪乱され耕作土表土となる

92号住居跡



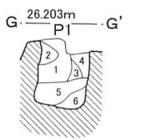
91号住居跡炉



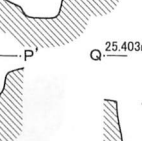
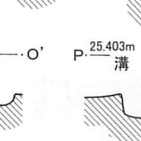
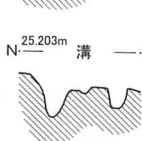
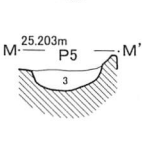
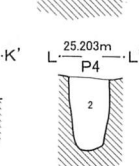
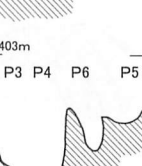
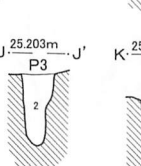
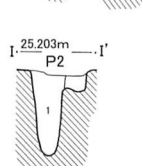
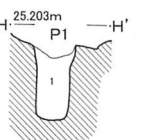
92号住居跡炉



91号住居跡



92号住居跡



91号住居 炉

1. 暗褐色土 締り有、粘性普通、ローム粒少量、焼土粒(5mm)微量含む
2. 暗褐色土 締りやや強、粘性やや無、ローム粒微量、焼土粒(1~5mm)やや多く混入
3. 暗黄褐色土 締り有、粘性普通、ソフトローム主体、最下部に焼土(2~3mm)少量含む
4. 暗黄褐色土 締り有、粘性普通、ソフトローム主体、黒褐色土粒(根カラン)少量含む

92号住居 炉

1. 暗褐色土 締り強、粘性有、焼土粒(5mm以下)多量含む、炭化物含まない
2. 赤褐色土 締り強、粘性有、焼土硬化層(燃焼面)

91号住居

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、焼土粒・ローム粒(3mm以下)多量に含む
炉より離れた所では焼土粒・炭化物が少なくなる
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、暗褐色土とソフトロームの混合
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、1・2層より明るく、焼土粒・炭化物(5mm以下)少量含む、シミ状焼土も少量含む
4. 暗褐色土 締り弱、粘性有、1~3層より明るく、ローム粒・炭化物(2mm以下)少量含む
- I. 黒色土 締り弱、粘性有、黒色土と黒褐色土を斑に含みローム粒(2cm以下)少量含む、住居覆土が攪乱され耕作土表土となる

92号住居

1. 黒色土 締り強、粘性有、焼土粒(2mm以下)多く含む、ローム粒・炭化物はほとんど含まない
2. 黒色土 締り強、粘性有、1層より焼土粒(2mm以下)・ローム粒・炭化物を多く含む
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、1・2層より明るく、焼土粒(3mm以下)・ローム粒・炭化物多く含む
4. 暗褐色土 締り強、粘性有、1~3層より明るく、ローム粒(2mm以下)やや多く、焼土粒(2mm以下)極少量含む
5. 暗褐色土 締り強、粘性有、4層に類似するがローム粒・焼土粒を極少量含む
6. 暗赤褐色土 締り強、粘性有、3層ベースにしみ状焼土と焼土粒(1cm以下)を多量含む
7. 暗褐色土 締り強、粘性有、5層にほぼ同じ(旧い周溝覆土の為8層より締り強)
8. 暗褐色土 締り強、粘性有、4層に類似するが、焼土粒・ローム粒・炭化物をほとんど含まない(新しい周溝覆土)
- I. 黒色土 締り弱、粘性有、黒色土と黒褐色土を斑に含みローム粒(2cm以下)少量含む、住居覆土が攪乱され耕作土表土となる

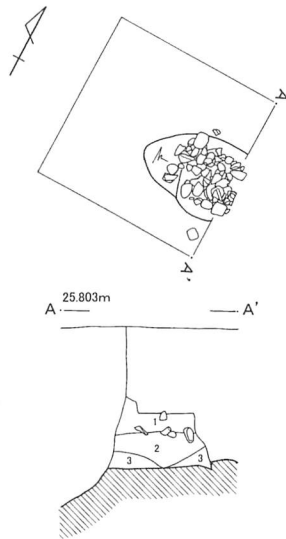
91号住居 ビット

1. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒・焼土粒(2mm以下)少量含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(5mm以下)多量・炭化物(2mm以下)少量含む
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、1層にほぼ同じだが、ローム粒・焼土粒少ない
4. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(5mm以下)多量含む、全体に明るい
5. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(5mm以下)少量含む、やや粘土質である
6. 暗褐色土 締り強、粘性有、ほぼなにも含まない、ブラックバンドに類似する

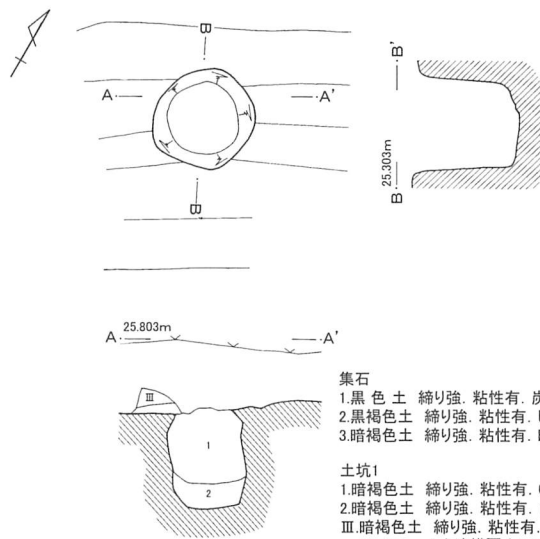
92号住居 ビット

1. 暗褐色土 締り弱、粘性有、ローム粒(2mm以下)少量含む
2. 暗褐色土 締り弱、粘性有、ローム粒(2mm以下)多量含む
3. 暗褐色土 締り弱、粘性有、暗褐色土ベースにローム粒(2mm以下)をシミ状に多量含む

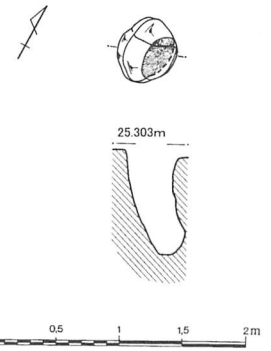
集石



土坑1



屋外ピット



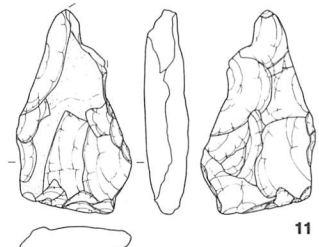
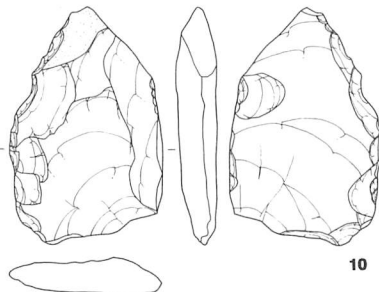
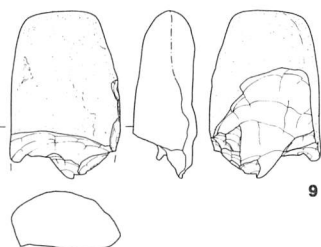
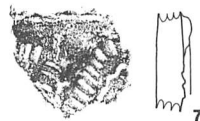
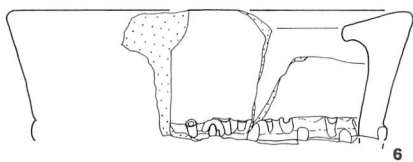
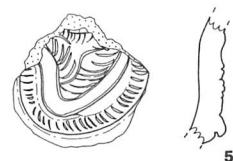
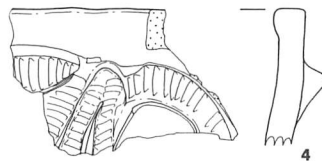
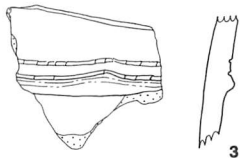
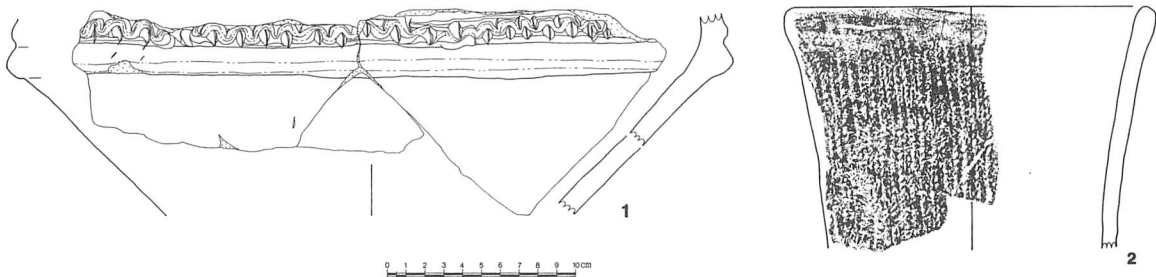
集石

1. 黒色土 締り強、粘性有、炭化物(3mm以下)少量、礫多量含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、しみ状にローム粒を少量、炭化物(2mm以下)も少量含む
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、暗褐色土とソフトロームの混合で焼土粒・炭化物を含まない

土坑1

1. 暗褐色土 締り強、粘性有、0.2cm以下のローム・焼土を多く、炭化物粒を少し含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、1層よりローム・焼土・炭化物の量が少なく、やや暗い
- III. 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームベースに黒色土粒少し含む。
ソフトロームと遺構覆土の中間で遺物包含層か

92号住居跡





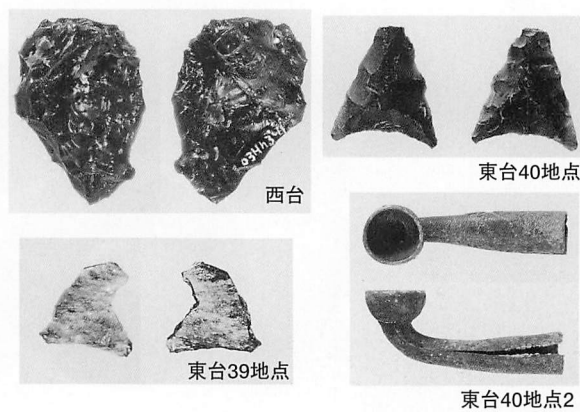
東台遺跡第39地点試掘調査



東台遺跡第40地点試掘調査



東台遺跡第40地点土坑・ピット



西台遺跡第3地点・東台遺跡第39・40地点出土遺物



東台遺跡第41地点試掘調査



東台遺跡第41地点90号住居跡



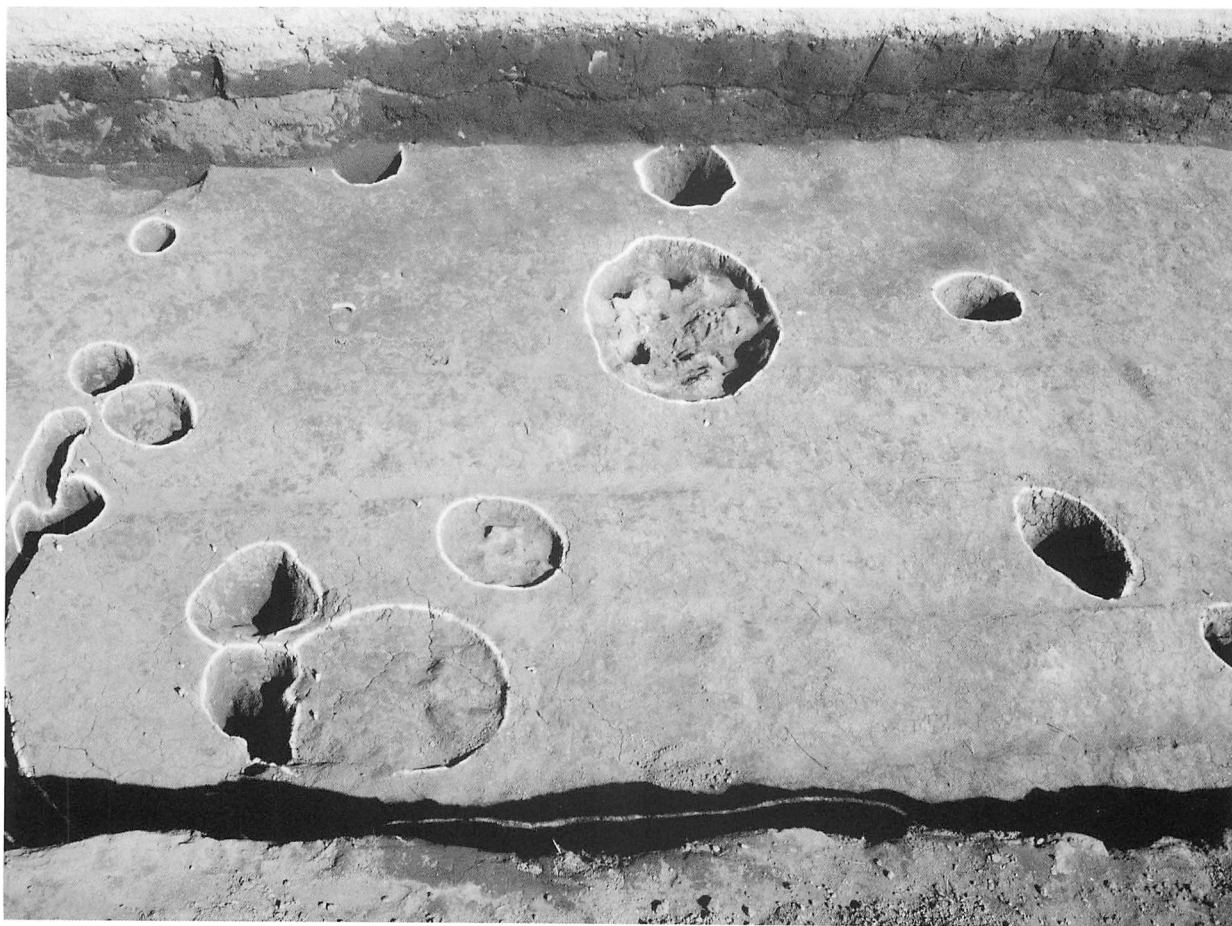
東台遺跡第41地点集石



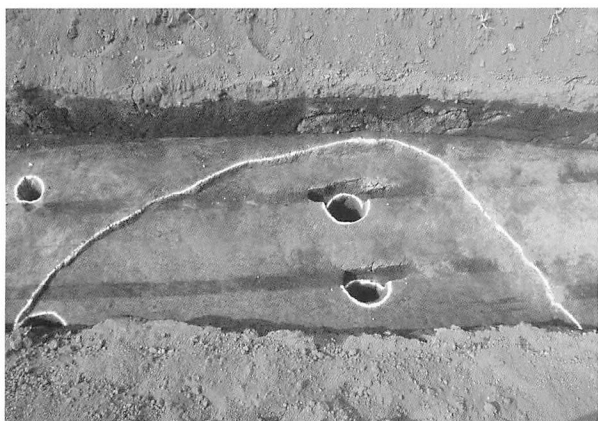
東台遺跡第41地点土坑



東台遺跡第41地点91・92号住居跡



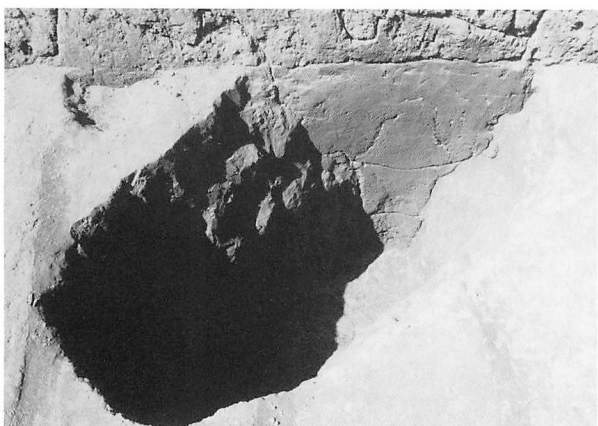
東台遺跡第42地点93号住居跡



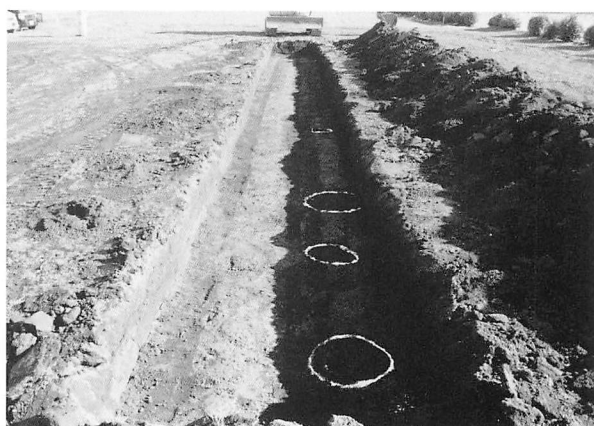
東台遺跡第42地点94号住居跡



東台遺跡第42地点94号住居跡土器出土状況



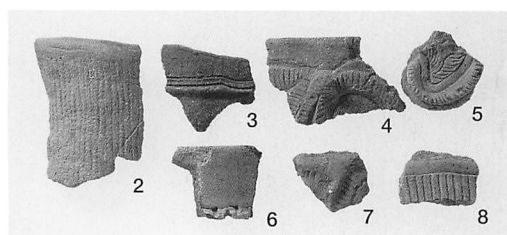
東台遺跡第42地点落とし穴



東台遺跡第43地点試掘調査



1



2

3

4

5

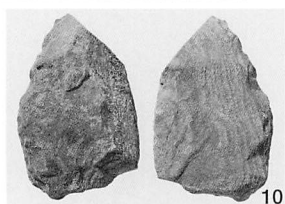
6

7

8



9



10

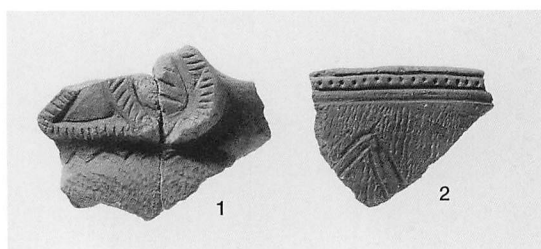


11

東台遺跡第41地点92号住居跡出土遺物

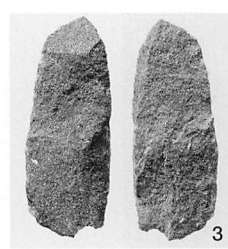


東台遺跡第42地点94号住居跡出土遺物



1

2



3

東台遺跡第42地点出土遺物